

2026年度

事業計画書

自 2026年4月 1日

至 2027年3月31日

公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟

# 目 次

## 【公益目的事業】

- 第1. 普及・啓発に関する活動 . . . . . P 1～P 4
  - 1 はじめてのボールルームダンス（社交ダンス）指導者養成講習会事業
  - 2 学校学習支援事業（キャラバン隊、行政、学校、団体等連携協力事業を含む）
  - 3 サマーセミナー、定期研修会
    - （3-1）サマーセミナー
    - （3-2）定期研修会
  - 4 地域協会支援事業
  - 5 ダンスウィーク「ダンスの日」事業
    - （5-1）「ダンスの日」
    - （5-2） スーパージャパンカップダンス前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会
  - 6 その他の活動
    - ジュニアダンス開発
  
- 第2. 相談・助言に関する活動 . . . . . P 4
  - 1 優良教室認定事業
  
- 第3. 調査・資料収集に関する活動 . . . . . P 4～P 6
  - 1 機関誌（ダンス・マイ・ライフ）作成事業
  - 2 その他の活動
    - （2-1） 国際渉外活動
    - （2-2） 国際渉外活動（ダンスキャンプ）
    - （2-3） 資料室運営
  
- 第4. 資格付与に関する活動 . . . . . P 6
  - 1 プロフェッショナルダンス教師5級認定事業
  - 2 資格認定事業（アマチュア）
  
- 第5. 競技会に関する活動 . . . . . P 7～P 9
  - 1 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ
  - 2 J B D F全日本プロフェッショナルダンス選手権大会
  - 3 日本インターナショナルダンス選手権大会
  - 4 スーパージャパンカップダンス
  - 5 全日本10ダンス選手権大会
  
- 第6. 競技選手の育成および指導に関する活動 . . . . . P 9～P 10
  - 1 強化指定選手助成事業
  - 2 その他の活動
    - （2-1） ナショナルチーム選手育成
    - （2-2） コングレス
    - （2-3） スプリングキャンプ

## 【収益事業等】. . . . . P 10

- 1 出版物の刊行・販売に関する活動

## 【その他の事業（相互扶助等事業）】. . . . . P 10～P 11

- 1 外国人招聘手続代行に関する活動
- 2 プロ教師資格試験等に関する活動
- 3 会員向け福利厚生制度・団体保険に関する活動

## 【公益目的事業】

### 第1. 普及・啓発に関する活動

#### 1 はじめてのボールルームダンス（社交ダンス）指導者養成講習会事業

2022年7月から「教員免許更新制」が廃止となり、事業の見直しを進めてきたが、サマーセミナーや定期研修会等の講習会事業と重複することから、事業を廃止する。なお、学校学習支援事業は継続する。

#### 2 学校キャラバン隊等事業（学校学習支援事業）

- (1) 目的 文部科学省の新学習指導要領で、中学校は平成24年4月から「ダンスと武道」が男女ともに必修となり全面実施になる。このことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、小・中・高等学校の学習指導要領を踏まえて、ボールルームダンスの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、ボールルームダンスの実際を見学・体験学習を通して学習意欲を喚起させる機会をつくることを目的として、学校へボールルームダンスのトップデモンストレーター及び指導者を派遣し、模範演技と体験講習をする。学習指導教材の研究・開発を行いその積み重ねの成果を学校教員、一般及びボールルームダンス指導者に伝達し、普及・啓発に努める
- (2) 対象 全国の小・中・高等学校の学校教員や児童・生徒、及び学校教育に興味のある一般の方。
- (3) 内容 ①デモンストレーターや講師を派遣するキャラバン隊の実施  
②全国の小・中・高校におけるボールルームダンスの授業化におけるサポート  
③文部科学省が推進する「運動部活動の地域移行」への取組み
- (4) 期間 通年
- (5) 期待される成果
- ①体験を通して、ボールルームダンスの楽しさを伝え裾野の拡がりになる。
  - ②国民文化としてのボールルームダンスの認知度を高める。
  - ③社会貢献の推進につながる。
  - ④研究開発した成果を指導者養成講習会等を通じて指導、伝達できる。
  - ⑤児童・生徒にボールルームダンスの楽しさや人との係わりを直接的に伝えることができる。
  - ⑥都道府県学校学習委員の普及・啓発活動により、地域における学校学習支援が活性化することが期待できる。

#### 3 サマーセミナー、定期研修会

### (3-1) サマーセミナー

- (1) 目的 熟達した指導者を育成するための事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めると共に、全国的に地域差のない、ダンス指導者のための講習が出来る講師・試験審査員の育成を目指すことを目的とする。
- (2) 対象 会員及び不特定多数の一般の者
- (3) 募集方法 会報誌・ホームページに公示し参加者を募る。
- (4) 開催期日 2026年7月8日(水)
- (5) 会場 江東区文化センター
- (6) 内容 全日本チャンピオンによる講習、新しいサマーセミナー・バリエーションの発表、今年度の定期研修会のテーマの講習、講師及び試験審査員のための講習を行う。

#### (7) 期待される成果

年に1度本部で開催し、チャンピオンから最新の踊り方や本部講師陣による講習技術及び認定試験時における講習・採点判断の方法等の講習を受けることにより、ボールルームダンス技術の全国均一化を目指している。各県連盟・協会にて年1回開催される定期研修会には、過去に本部から講師を派遣していたが、現在はその地域の指導者が講師を努めている。

### (3-2) 定期研修会

- (1) 目的 アマチュアダンス指導員及びプロフェッショナルダンス教師の会員に、年1回最新のダンス技術の講習を行い、日本全国の指導技術力の向上を目指すと共に、学校・地域でのボールルームダンス指導の実践に役立つ実技と指導法を講習し、日本全国に指導者の要請を図る。
- (2) 対象 会員・不特定多数の一般の方
- (3) 募集方法 ホームページ、会員宛開催通知
- (4) 開催期日 各ブロック及び都道府県にて年1度開催
- (5) 会場 公共施設を使用する。
- (6) 内容 該当年度に行われたサマーセミナーの講習を基にした研修会

#### (7) 期待される成果

日本全国で同じ内容の講習会を開催することにより、全国的に技術力の平均化を目指す。

## 4 地域協会支援事業

- (1) 目的 生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及を目的として、各都道府県地域協会がダンスを経験したことのない一般の人達も体験・参加できるようなイベント等を開催し、裾野を広げると共に地域協会の活性化を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。

- (2) 参加対象 イベント等に参加する対象は、一般ダンス愛好者及びダンスを経験したことのない一般の老若男女。
- (3) 開催期日 各都道府県地域協会が定める。
- (4) 会場 各都道府県地域協会が定める。
- (5) 内容 各都道府県地域協会が開催する、ダンスを経験したことのない一般の人達も気軽に体験できるような一般参加型のイベント等の事業に対し、助成費を支給する。なお、事業内容をダンスマイライフ等に掲載し、普及促進を図る。
- (6) 応募方法 別途定める企画書・予算書等を本部へ提出する。
- (7) 助成金額 本法人が定める基準による。会場費について1万円を上限に補助する。
- (8) 終了報告 各都道府県地域協会は、事業終了後、遅滞なく終了報告書・決算書等を本部へ提出する。
- (9) 期待される成果  
各都道府県地域協会において、一般参加型のイベント等を開催することにより、地域協会の活性化を図ると共に各地区における生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及促進及び底辺拡大に寄与する。

## 5 ダンスウィーク「ダンスの日」事業

### (5-1) ダンスの日

2026年度は補助金の支給を中止し、事業を見直す。

### (5-2) スーパージャパンカップダンス前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会 期待する効果が見込まれないことから事業を廃止する。

## 6 その他の活動

### ジュニアダンス開発

- (1) 目的 青少年の情操教育の一環及びボールルームダンスの若年層拡大を目的として全国各地にジュニア・スクールを展開し、その開校教室に対し支援や助言を行うとともに、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 未就学児・小学生・中学生・高校生、大学生、ジュニア指導者
- (3) 募集方法 ホームページやSNSによる広報等を行う。
- (4) 開催期日 各事業毎に決定する。
- (5) 会場 全国の各教室や公共施設等で開催。
- (6) 内容
  - ① 5名以上の生徒を有するジュニア・スクールに対し、補助金を支給する。(補助金額：1回1,000円、上限39,000円)
  - ② J B D Fジュニア・ボールルームダンス・ミーティングを開催する。(開催地：東京・水戸の計2回開催)
  - ③ ジュニア・スクールを開校するための「ジュニア・スクール指

導員講習会」や、ジュニア関係の講習会を会場及びリモートで実施する。

④日頃の成果を発揮する機会及び目標や達成感を与えることを目的としたバッジ・テストを実施すると共にメダルテストや指導者資格との連携を図る。

⑤SNSを活用し社交ダンス未経験者にアプローチする。

(7) 期待される成果

青少年の技術力の向上と健全育成に貢献するとともに、各地区でのボールルームダンスの活性化及び若年層拡大に寄与する。

## 第2. 相談・助言に関する活動

### 1 優良教室認定事業

(1) 目的 本法人が定めた自主規制に則ったダンス教室に認定を与え、健全な営業を目指すことを目的とする。

・認定教室 床面積概ね 50 m<sup>2</sup>以上、照度は 30 ルックス以上、騒音は 50 デシベル以下、暴力団関係者・酒酔者その他風紀を乱す者の入場が禁止されている。教室内で飲食の提供をしない、教室内には料金表示並びにハラスメントに関する注意事項が貼り出されていること等

・優良認定教室 認定教室の条件にすべて満たしていること。プロフェッショナルダンス教師資格両部門 3 級以上を有する専任のダンス教師を 1 名以上置くこと。フロア面積が 66 m<sup>2</sup>以上あること。照度は 60 ルックス以上等。

(2) 対象 厳正な試験を経て、資格を得た本法人所属のプロフェッショナルダンス教師が常駐し、質の高い指導を行う教室。

(3) 認定教室 ホームページに掲載し、一般ダンス愛好者等に周知している。

(4) 期待される成果

安心で健全なダンス教室を認定し、登録証を発行する。一般ダンス愛好者の方々が安心してレッスンが受けられる。

## 第3. 調査・資料収集に関する活動

### 1 機関誌作成事業

(1) 目的 本法人の機関誌「ダンスマイライフ」として、ボールルームダンスの魅力と本法人の活動を広報し、本法人が目指すダンス文化創造の土台づくりに貢献する。また、本誌は本法人と会員をつなぐ媒体として諸事業に関する情報を全国の会員へ伝え、スムーズな事業運営につなげる。

(2) 配布対象 本法人ホームページ上で公開するほか、印刷物として本法人会員、全国の教育委員会等に配布する。

(3) 発行回数と発行部数

スポーツ活動推進事業の一環として、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ(toto)の助成を受け、年 2 回(4 月 No98、

- 12月 No99) 発行する。発行部数は各 7,800 部 (非売品) とする。
- (4) 内 容 ア. ダンスの楽しさ・魅力を紹介する読み物等の記事。  
イ. 様々なダンス普及イベント、主要競技大会等の開催情報とその結果報告。  
ウ. ボールルームダンスの技術や指導力の向上に役立つ企画記事。  
エ. 本法人の事業に関する各種の情報。

## 2 その他の活動

### (2-1) 国際渉外活動

- (1) 国際競技会における環境の整備並びにわが国ボールルームダンスの競技力向上を目的として以下の事業を行う。
- (2) ①外国の関係団体との連携、調整に関する事項  
②NDCJとの連携、調整に関する事項  
③NDCJ公認競技会の実施及び運営に関する事項

### (2-2) 国際渉外活動 (ダンスキャンプ)

- (1) 目 的 世界に通用する競技選手の育成を行うとともに、定款第3条に定めるダンス文化の普及と発展に寄与する指導者を育成することを目的とする。
- (2) 事業内容 「世界への道」をテーマに、世界選手権大会及び日本インターに招聘する外国人による講習会や練習回答を実施する。
- (3) 対 象 J B D F 加盟団体所属のプロ競技選手およびアマ競技選手、J B D F 会員
- (4) 実施時期 2026年6月3日(水)～5日(金)
- (5) 実施場所 森下文化センター(東京都江東区)
- (6) 募集人員 講習会360名・個人レッスン100組(3日間延人員)

### (2-3) 資料室運営

- (1) 目 的 ボールルームダンスとそれに関連して音楽やスポーツ科学、身体に関する様々な書物や映像資料等を収集し、ボールルームダンスの普及と技術向上に向けた研究・調査等をサポートする。
- (2) 対象、閲覧要項  
本法人会員及び一般。利用は無料、閲覧のみで貸し出しは原則、不可。閲覧時間：月・水・金 13時～17時。土・日・祝日は休み。
- (3) 収蔵内容 ア. 昭和初期から戦前にかけて出版された英国と日本のダンス技術書。  
イ. 戦後から現在までに日本や英国で出版されたダンス技術書。  
ウ. 戦前、戦後に出されたダンス雑誌と現在も出されているダンス雑誌。  
エ. ダンス史や評伝、アルゼンチンタンゴ等、ダンス関連書籍。  
オ. 音楽やスポーツ科学、学校体育に関する書籍。  
カ. 映像、写真等の資料。

主な所蔵は書籍約 500 冊、雑誌約 1,450 冊。

(4) 期待される成果

ボールルームダンス関係の著作をまとめて所蔵している図書館は少ないため、卒論等のために資料調べをする人に貴重な存在となっている。また、他のダンス組織で資料室を設置しているところはなく、関係資料を本資料室への集約することは日本のダンス界にとって共有の財産となる。

#### 第 4. 資格付与に関する活動

##### 1 プロフェッショナルダンス教師 5 級認定試験事業

- (1) 目的 プロフェッショナルダンス教師の原資格となる認定試験を行う。
- (2) 対象 プロフェッショナルダンス教師資格を取得したいアマチュアダンス指導員及び一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 ホームページ等にて公示し、受験者を募る。
- (4) 開催期日 4 月の第 3 金曜日と 10 月の第 4 金曜日に行われている。  
2026 年度は第 55 回が 4 月 17 日、第 56 回が 10 月 23 日に開催
- (5) 会場 公共施設を使用し、全国 9 ブロックで行う。
- (6) 内容 講習会と試験があり、試験は筆記試験と実技試験を行う。筆記試験はダンスの技術、ダンス教室の自主規制、一般常識、エチケット・マナー及びハラスメントが出題項目となっている。本法人の資格審議委員会から派遣された試験審査員の下で、全国同時に開催している
- (7) 期待される成果  
プロ教師として、ダンス技術や教授法ばかりでなく、本法人の教室経営における自主規制や遵法精神を周知徹底することができる。

##### 2 資格認定事業（アマチュア）

- (1) 目的 一般ダンス愛好者の方にボールルームダンスを広めるために、講習会及び試験によって指導者の養成及び育成を目的とする。
- (2) 対象 アマチュアの指導者であるアマチュアダンス指導員 5 級～1 級の者を対象とする。
- (3) 募集方法 試験開催情報はホームページにて周知する。
- (4) 開催期日 全国各地においてそれぞれ年 1 回以上の開催を予定している。
- (5) 会場 公共施設を使用。
- (6) 内容 4 級～2 級は各都道府県連盟が開催し、講習後、約 1 か月後に試験を行う。級が上がるごとに高度な内容になる。  
1 級資格試験については、年 1 回本法人において実施する。  
5 級は不特定多数の一般から指導者になりたい方を募集し、講習を受けることで資格が付与される。
- (7) 期待される成果  
優秀な指導者を養成し、日本のボールルームダンス技術の向上を図る。

## 第5. 競技会に関する活動

### 1 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

- (1) 目的 青少年のボールルームダンスの競技力向上及び心身の健全育成の推進並びに、スポーツの振興及び、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展に寄与する。
- (2) 対象 小学生・中学生・高校生
- (3) 募集方法 各広域加盟団体、都府県加盟団体、認定教室、ジュニア・スクール開講教室等に大会要項を送付する。又、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 2026年8月2日(土)
- (5) 会場 中央区立総合スポーツセンター(東京都中央区)
- (6) 内容 小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部に分け、男女カップル及び女子同士カップルの2部門において、ボールルームとラテンの競技を行う。
- (7) 期待される成果  
競技会を通して青少年のボールルームダンスの競技力の向上と心身の健全育成、並びにアスリート育成を推進するとともに、ボールルームダンスの若年層の拡大・普及に寄与する。
- (8) 特記事項 2005年に第1回を開催し、今年で22回目を迎える。独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじの助成を受け実施する。

### 2 JBDF全日本プロフェッショナルダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 JBDF登録選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体、プロ選手会に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 2026年10月24日(土)・25日(日)
- (5) 会場 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ(静岡市)
- (6) 内容 プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本グランドシニア選手権等を行う。
- (7) 期待される成果  
競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成を推進するとともに、国内のボールルームダンスの普及・振興に寄与する。また、各広域加盟団体を持ち回りで開催することにより、各地区でのボールルームダンスの活性化と普及促進に寄与する。
- (8) 特記事項 昭和26年から行われており、最も歴史のある競技会である。プロフェッショナル部門とアマチュア部門には、文部科学大臣杯

が授与される。

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携し、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじの助成を受け、ドーピング検査を実施する。

### 3 日本インターナショナルダンス選手権大会

- (1) 目的 国内外のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 J B D F 登録選手、外国人選手、他団体選抜選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体、プロ選手会、他団体等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 2026年6月6日(土)・7日(日)
- (5) 会場 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」(東京都港区)
- (6) 主管 (一社) 東部日本ボールルームダンス連盟
- (7) 内容 海外のトップ選手及び著名審査員を招聘して行う国際競技会であり、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本シニア選手権を行う。
- (8) 期待される成果  
国際競技会を通して、ボールルームダンスの技術の向上とアスリートの育成及び、国際親善に役立つとともに、国内のボールルームダンスの普及・振興に寄与する。
- (9) 特記事項 伝統と権威のある国際的な大会であり、国内最高峰の競技会として定着している。

### 4 スーパージャパンカップダンス

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 J B D F の登録選手、他団体選抜選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体、プロ選手会、他団体等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 開催期日 2027年3月6日(土)・7日(日)
- (5) 会場 幕張イベントホール(幕張メッセ)
- (6) 内容 全日本セグエ選手権(プロのみ)、全日本選抜ダンス選手権(プロ・アマ)、ライジングスター競技会(プロ・アマ)、スーパーシニア競技会、グランドシニア選手権、全日本ジュニア選手権、全日本ジュブナイル選手権を行う。
- (7) 期待される成果  
競技会を通してボールルームダンスの華麗さ優雅さを伝えるとと

もに、ボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成の推進及び、国内のボールルームダンスの普及と振興に寄与する。

- (8) 特記事項 全日本セグエ選手権は通常の競技会とは異なり、ドラマチックで独創的なダンスで、見る側にとっても十分に楽しむことのできる大会である。

## 5 全日本10ダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとして我が国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 対象 J B D F 登録選手、他団体選抜選手、一般ダンス愛好者
- (3) 募集方法 各加盟団体・プロ選手会・他団体等に大会要項を送付する。また、会報誌及びホームページによる広報を行う。
- (4) 内容 スタンダード部門5種目・ラテンアメリカン部門5種目の合計10種目で競われる10ダンスの他に、ジャパン・スタンダードトロフィー及びジャパン・ラテンアメリカントロフィー等を行う。
- (5) 期待される成果  
競技会を通してボールルームダンスの技術の向上やアスリート育成の推進及び、国内のボールルームダンスの普及と振興に寄与する。
- (6) 特記事項 一般社団法人NDC J主催のプロフェッショナル統一全日本10ダンス選手権大会と併催して行われる。

下記により2025年度事業として、(一社)西部日本ボールルームダンス連盟主管により実施した。

開催日：2026年3月29日(日)

開催場所：都ホテル尼崎(兵庫県尼崎市)

## 第6. 競技選手の育成および指導に関する活動

### 1 強化指定選手助成事業

- (1) 目的 国際的なレベルの選手を育てることを目的に、強化指定選手を認定し支援するとともに、選手の技術力及び競技力の向上を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 対象 J B D F 登録選手(プロ・アマ・ジュニア・ジュブナイル)  
2026年度  
プロ：全国ランキング1位から3位  
アマ：全国ランキング1位
- (3) 内容 それぞれのカテゴリーにおいて、J B D F 3 大会等指定競技会の成績をポイント化し、そのポイントによる全国ランキングを定める。全国ランキングの順位によってカテゴリーごとに、A標準記録指定選手(特別強化指定選手)・B標準記録指定選手(強化指定選手)・C標準記録指定選手(強化推薦選手)に分け、指定競技

会の出場料の免除及び、強化活動資金として助成金の給付を行う。  
また、世界選手権に出場する代表選手に対し、強化の一環として、  
派遣費用を補助する。

なお、2026年度強化指定選手助成金は、規定の半額とする。

(4) 期待される成果

技術力・競技力の向上とアスリート育成に貢献し、我が国のボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。

(5) 特記事項 ジュニア・ジュブナイルについては、選手登録制度を整備し、手続きが整い次第、助成金を支給していく。

## 2 その他の活動

### (2-1) ナショナルチーム選手育成

(1) 目的 選手の技術力・競技力の向上とアスリートの強化育成を図り、世界に通用する選手を育てることを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。

(2) 内容 優秀なコーチを招聘し、定期的に強化練習会を開催する。

(3) 対象 プロA級・B級およびC級ファイナリスト

(4) 期待される成果

技術力・競技力の向上とアスリート育成に貢献し、我が国のボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。

### (2-2) コンgress

サマーセミナー等に事業を移管し廃止とする。

### (2-3) スプリングキャンプ

ナショナルチーム選手育成やダンスキャンプに事業を移管し廃止とする。

## 【収益事業等】

### 1 出版物の刊行・販売に関する活動

(1) 目的 試験用の資料、会員が指導に必要な教本・教材の製作及び学校学習使用教材の作成

(2) 対象 会員及び正式なボールルームダンスを学びたい不特定多数の一般の方。

(3) 内容 試験問題・試験問題集・教本・教材DVD等

(4) 期待される成果

ボールルームダンスを広めるとともに、優秀な指導者を育成する。

## 【その他の事業（相互扶助等事業）】

### 1 外国人招聘手続代行に関する活動

- (1) 事業の概要 加盟団体の依頼により、外国人招聘手続き事務の代行を行う。  
事務代行手数料@30,000円

## 2 プロ教師資格試験等に関する活動

- (1) 目的 一般の者にボールルームダンスを広めるために、講習会及び試験によって指導者を養成・育成することを目的とする。
- (2) 対象 1. プロ会員にプロフェッショナルダンス教師4～1級の講習及び試験を行う。  
2. 正会員に試験審査員3～1級の講習及び試験を開催し認定する。(試験審査員1級は2年に1度実施)  
3. 会員に採点管理者資格1次又は2次の試験を開催し資格を認定する。
- (3) 募集方法 試験開催情報は常にホームページに掲載し、会員に周知する。
- (4) 開催期日 全国各地において、年1回以上の開催を予定している。
- (5) 会場 公共施設を使用して行う。
- (6) 内容 1. プロフェッショナルダンス教師資格所持者を対象に、各都道府県連盟又はプロ・ダンス・インストラクター協会が開催し、講習を行い約1ヵ月後に試験を行う。昇級する度に高度な内容の試験になる。(実技・筆記試験)  
2. 試験審査員は3～1級の資格があり、講習と面接試験を行う。  
3. 採点管理者試験は1次と2次資格があり、講習を行い、約1ヵ月後に筆記試験を行う。
- (7) 期待される成果  
優秀な指導者を養成し、ボールルームダンス技術の向上を目指す。

## 3 会員向け福利厚生制度・団体保険に関する活動

加入者減少により、マツモトキヨシとの提携を解消する。

長期休業補償制度は2026年度新規募集を取り止め制度内容を見直す。